

氏名	市山卓爾
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第77号
学位授与の日付	昭和39年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	灌流ネコ脳髓の代謝
論文審査委員	教授 奥村二吉 教授 水原舜爾 教授 田中早苗

学位論文内容要旨

Geiger, A. & Magnes, J. の方法に改良を加えた脳灌流法によりネコ脳髓の灌流を行ない、第1編では精神神経科領域に使用される諸種薬物の影響を、主として脳血管について検討し、第2編及び第3編では Chlorpromazine (Cp) 並びに Chlordiazepoxide (Cd) 投与時の脳波、脳循環を生理学的及び生化学的所見の相互間の関連について考察を加えた。即ち Cp では、脳血流量は小量投与で増大するが大量では不変、脳糖質代謝は小量で酸素消費量、糖消費量の増加傾向並びに乳酸生成量の著増（乳酸高値型）、大量で各代謝量の減少、脳波は周波数の徐化と同期化を示すのに対し、Cd では、濃度に拘らず脳血流量の増大と脳糖質代謝の不変、脳波は全例に抑制効果と同時に脳波の規則化、を示した。

以上脳波及び脳の代謝等に及ぼす作用から、Cp と Cd とは全く異った中枢神経に対する作用機序をもっていることが推察された。

第I編 灌流ネコ脳循環に及ぼす諸種薬物の影響

昭和38年6月30日、岡山医学会雑誌 第75巻, 4, 5, 6合併号, 355頁掲載

第II編 Chlorpromazine の灌流ネコ脳髓に対する作用

昭和38年6月30日、岡山医学会雑誌 第75巻4, 5, 6合併号, 367頁掲載

第III編 Chlordiazepoxide の灌流ネコ脳髓に対する作用

論文審査の結果の要旨

市山卓爾提出の「灌流ネコ脳髓の代謝」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、次の通りである。

Geiger, A. and Magnes, J. の方法に改良を加えた脳髓の灌流を行ない、第1編では精神神経科領域に使用される諸種薬物の影響を主として脳血管について検討し、第2編及び第3編では Chlorpromazine (Cp) 並びに Chlordiapoxyde (Cd) 投与時の脳波、脳循環を生理学的及び生化学的所見の相互間の関連について考察を加えた。即ち Cp では、脳血流量は小量投与で増大するが大量では不変、脳糖代謝は小量で酸素消費量、糖消費量の増加傾向並びに乳酸生成量の著増（乳酸高値型）、大量で各代謝量の減少、脳波は周波数の徐化と同期化を示すのに対し、Cd では、濃度に拘らず脳血流量の増大と脳糖質代謝の不変、脳波は全例に抑制効果と同時に脳波の規則化を示した。以上脳波及び脳の代謝等に及ぼす作用から、Cp と Cd とは全く異った中枢神経に対する作用機序をもっていることが推察された。

以上の通り本論文は、精神神経科の日常臨床に於て頻繁に用いられる薬物につきその脳代謝、脳循環に対する作用を明らかにしたものであって臨床上誠に有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有するものと認める。